

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【公表番号】特表2018-535232(P2018-535232A)

【公表日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-046

【出願番号】特願2018-526844(P2018-526844)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

A 6 1 Q 5/08 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/04 (2006.01)

A 6 1 K 8/36 (2006.01)

A 6 1 K 8/368 (2006.01)

A 6 1 K 8/362 (2006.01)

A 6 1 K 8/365 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/41

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 Q 5/12

A 6 1 Q 5/08

A 6 1 Q 5/10

A 6 1 Q 5/04

A 6 1 K 8/36

A 6 1 K 8/368

A 6 1 K 8/362

A 6 1 K 8/365

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月28日(2019.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モノエタノールアミンと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒、少なくとも1つの添加剤、又はそれらの組み合わせとを含む、毛髪組成物。

【請求項2】

少なくとも1つのカルボン酸が、クエン酸、マロン酸、シュウ酸、リンゴ酸、グルタル酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、セバシン酸、それらの塩、グリオキ

シル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される、又は少なくとも1つのカルボン酸が、マレイン酸、シトラコン酸、フマル酸、安息香酸、それらの塩、及びそれらの組み合わせから選択され、好ましくは少なくとも1つのカルボン酸が、マロン酸、マレイン酸、クエン酸、それらの塩、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項1に記載の毛髪組成物。

【請求項3】

少なくとも1つのカルボン酸が、毛髪組成物の質量に対して、約25質量%までの量で存在する、請求項1又は2に記載の毛髪組成物。

【請求項4】

モノエタノールアミンが、毛髪組成物の質量に対して、約10質量%までの範囲の量で存在する、請求項1～3のいずれか一項に記載の毛髪組成物。

【請求項5】

溶媒が、水、美容上許容できる有機溶媒、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項1～4のいずれか一項に記載の毛髪組成物。

【請求項6】

少なくとも1つの添加剤が、界面活性剤、溶媒、及び/又はコンディショニング剤から選択される、請求項1～4のいずれか一項に記載の毛髪組成物。

【請求項7】

(a)モノエタノールアミンと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と

を含む毛髪処置組成物、並びに

(b)モノエタノールアミンと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と

を含む毛髪コンディショニング組成物

を含む、毛髪処置系。

【請求項8】

毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、クエン酸、マロン酸、シュウ酸、リンゴ酸、グルタル酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、セバシン酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される、又は毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、マロン酸、マレイン酸、クエン酸、及びそれらの組み合わせから選択される、又は毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、マレイン酸、シトラコン酸、フマル酸、安息香酸、それらの塩、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項7に記載の毛髪処置系。

【請求項9】

毛髪を着色する又は整形するための組成物又は作用剤を更に含み、好ましくは、毛髪を着色する又は整形するための組成物が、毛髪処置組成物を含み、より好ましくは、毛髪を着色するための作用剤が、ブリーチ剤、着色剤化合物若しくはそれらの組み合わせから選択され、且つ/又は毛髪を整形するための作用剤が、毛髪をストレート化する、リラクシングする若しくはパーマネントウェーブをかけるための作用剤から選択され、より好ましくは、

少なくとも1つのブリーチ剤が、過酸化物、パーサルフェート、パーボレート、パーカーボネート、過酸、プロメート、それらの塩、及びそれらの混合物から選択され;

少なくとも1つの着色剤化合物が、酸化染料、直接染料、顔料、及びそれらの混合物から選択される、請求項7又は8に記載の毛髪処置系。

【請求項10】

(a)モノエタノールアミンと;

マレイン酸、マロン酸、それらの塩、及びそれらの組み合わせと;

少なくとも1つの溶媒と

を含む毛髪処置組成物;及び

(b)モノエタノールアミンと;

マレイン酸及び/又はその塩と;

少なくとも1つの添加剤と

を含む毛髪コンディショニング組成物

を含む、毛髪処置系。

【請求項11】

毛髪を着色する又は整形するための組成物又は作用剤を更に含む、請求項10に記載の毛髪処置系。

【請求項12】

毛髪を処置する方法であって、

(a)モノエタノールアミンと;

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と;

少なくとも1つの溶媒と

を含む毛髪処置組成物を毛髪に適用する工程;並びに

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程;

(c)モノエタノールアミンと;

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と;

少なくとも1つの添加剤と

を含む毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程;並びに

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程

を含む、方法。

【請求項13】

毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、マロン酸、マレイン酸、クエン酸、それらの塩、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項12に記載の方法。

【請求項14】

毛髪処置組成物が、毛髪を着色する又は整形するための組成物又は作用剤を更に含み、好ましくは、色味変更組成物が、少なくとも1つのブリーチ剤、少なくとも1つの着色剤化合物、又はそれらの組み合わせを含み、好ましくは、

少なくとも1つのブリーチ剤が、過酸化物、パーサルフェート、パーボレート、パーカーボネート、過酸、プロメート、それらの塩、及びそれらの混合物から選択され;

少なくとも1つの着色剤化合物が、酸化染料、直接染料、顔料、及びそれらの混合物から選択される、請求項12又は13に記載の方法。

【請求項15】

毛髪の色味を変更する方法であって、

(a)モノエタノールアミンと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と；

少なくとも1つのブリーチ剤、少なくとも1つの着色剤化合物、又はそれらの組み合わせと

を含む組成物を毛髪に適用する工程；

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(c)好ましくは、少なくとも1つのブリーチ剤、少なくとも1つの着色剤化合物、又はそれらの組み合わせを含む、色味変更組成物を、毛髪処置組成物の適用の前、後、又は適用と同時に、毛髪に適用する工程；

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(e)モノエタノールアミンと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と

を含む毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程；並びに

(f)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程

を含む、方法。

【請求項16】

毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、クエン酸、マロン酸、シュウ酸、リンゴ酸、グルタル酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、セバシン酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される、又は毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、マレイン酸、シトラコン酸、フマル酸、安息香酸、それらの塩、及びそれらの組み合わせから選択され、好ましくは、毛髪処置組成物及び/又は毛髪コンディショニング組成物に存在する少なくとも1つのカルボン酸が、独立して、マロン酸、マレイン酸、クエン酸、及びそれらの組み合わせから選択される、請求項15に記載の方法。

【請求項17】

毛髪を処置する方法であって、

(a)モノエタノールアミンと；

マロン酸及び/又はその塩と；

少なくとも1つの溶媒と

を含む毛髪処置組成物を毛髪に適用する工程；

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(c)モノエタノールアミンと；

マレイン酸及び/又はその塩と；

少なくとも1つの添加剤と

を含む毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程；及び

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程

を含む、方法。

【請求項18】

毛髪の色味を変更する方法であって、

(a)モノエタノールアミンと；

マレイン酸、マロン酸、それらの塩、及びそれらの組み合わせと；

少なくとも1つの溶媒と

を含む処置組成物を毛髪に適用する工程；

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(c)少なくとも1つのブリーチ剤、少なくとも1つの着色剤化合物、又はそれらの組み合わせを含む、色味変更組成物を、毛髪処置組成物の適用の前、後、又は適用と同時に、毛髪に適用する工程；

(d)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(e)モノエタノールアミンと；

マレイン酸及び/又はその塩と；

少なくとも1つの添加剤と

を含む毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程；及び

(f)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程

を含む、方法。

【請求項 19】

毛髪の色味又は形状を変更するための多区画キットであって、

(a)モノエタノールアミンと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と

を含む毛髪処置組成物を含有する第1の区画；

(b)モノエタノールアミンと；

マレイン酸、シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と

を含む毛髪コンディショニング組成物を含有する第2の区画；並びに

(c)任意選択で、毛髪を着色する又は整形するための少なくとも1つの作用剤を含有する1つ又は複数の追加区画

を含む、キット。

【請求項 20】

毛髪を処置する方法であって、

(a)モノエタノールアミンと；

シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、マレイン酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と

を含む毛髪処置組成物を毛髪に適用する工程

を含む、方法。

【請求項 21】

処置組成物が、毛髪の色味を変更するための少なくとも1つの作用剤を更に含み、好ましくは、毛髪の色味を変更するための作用剤が、過酸化物、パーサルフェート、パーボレート、パーカーボネート、過酸、プロメート、それらの塩、及びそれらの混合物から選択されるブリーチ剤から選択され、より好ましくは、毛髪の色味を変更するための作用剤、又は毛髪の色味を変更するための作用剤を含む組成物が、毛髪に適用される前に処置組成物と混合され、より好ましくは、混合する工程が、混合物を毛髪に適用する1時間未満前に行われる、請求項20に記載の方法。

【請求項 2 2】

毛髪処置組成物の適用の前、後、又は適用と同時に、毛髪をストレート化する、リラクシングする、又はパーマネントウェーブをかけるための少なくとも1つの作用剤を含む毛髪整形組成物を毛髪に適用する工程を更に含む、請求項20に記載の方法。

【請求項 2 3】

毛髪の色味を変更する方法であって、

(a)(1)モノエタノールアミンと；

シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、マレイン酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と；

毛髪の色味を変更するための少なくとも1つの作用剤と

を含む処置組成物を毛髪の一部に適用する工程；

(a)(2)モノエタノールアミンと；

シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、マレイン酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの溶媒と

を含む処置組成物を毛髪の一部に適用する工程であって；

(a)(1)の部分と(a)(2)の部分とが、本質的に、毛髪の異なる部分からなる、工程；

(b)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(c)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程；

(d)任意選択で、毛髪コンディショニング組成物を毛髪に適用する工程であって、毛髪コンディショニング組成物が、

モノエタノールアミンと；

シュウ酸、マロン酸、リンゴ酸、グルタル酸、シトラコン酸、クエン酸、グリコール酸、コハク酸、アジピン酸、酒石酸、フマル酸、マレイン酸、セバシン酸、安息香酸、それらの塩、グリオキシル酸一水和物、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つのカルボン酸と；

少なくとも1つの添加剤と

を含む、工程；並びに

(e)任意選択で、毛髪をシャンプーする、且つ/又はすすぐ工程

を含む、方法。

【請求項 2 4】

毛髪の色味を変更する方法であって、

(a)毛髪処置組成物と色味変更組成物とを混合する工程であって、

毛髪処置組成物が、

モノエタノールアミン；

マレイン酸及びその塩から選択される少なくとも1つのカルボン酸；

水、美容上許容できる有機溶媒、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つの溶媒を含み；

毛髪処置組成物のpHが約3であり；

モノエタノールアミンが、毛髪処置組成物の質量に対して、約5.4質量%の量で存在し；

マレイン酸及びその塩から選択される少なくとも1つのカルボン酸が、毛髪処置組成物の質量に対して、約10.7質量%の量で存在し、

色味変更組成物が、少なくとも1つのブリーチ剤、少なくとも1つの着色剤化合物、又はそれらの組み合わせを含む；

工程；

(b) 混合物を毛髪に適用する工程を含む、方法。

【請求項 25】

モノエタノールアミン；

マレイン酸及びその塩から選択される少なくとも1つのカルボン酸；

水、美容上許容できる有機溶媒、及びそれらの組み合わせから選択される少なくとも1つの溶媒

を含む毛髪処置組成物であって、

毛髪処置組成物のpHが約3であり；

モノエタノールアミンが、毛髪処置組成物の質量に対して、約5.4質量%の量で存在し；

マレイン酸及びその塩から選択される少なくとも1つのカルボン酸が、毛髪処置組成物の質量に対して、約10.7質量%の量で存在する、毛髪処置組成物。